



Sustainable Development Goals

じそくかのう 持続可能な
かいはつ 開発
もくひょう 目標

SDG's (エズ・ディー・シーズ) ってなんだろう?

SDG'sは、人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成しなくてはならない目標のことです。世界中のさまざまな立場の人々が話しあい、問題を整理し、ともに解決する方法を考えながら立てられました。2015年に国連で採択され、持続可能でよりよい世界を目指し、国際的に取り組むことになっています。

持続可能とは「何かをし続けられる」ということです。SDG'sは、私たちみんながひとつしかないこの地球で暮らし続けていくために、何をしたらよいかを示してくれている道しるべのようなものであり、世界を変えるための17の大きな目標からなっています。

SDG'sのキーワードは“誰ひとり取り残さない”。私たちみんなが、ひとりひとり考えて行動することが、世界を変えるきっかけになります。



Check! 助成金



一般財団法人住宅生産振興財団

2022年度第18回住まいのまちなみコンクール

- ◆対象：住まいのまちなみの維持管理活動を行っている町内会、自治会、管理組合や運営委員会、地域NPO法人など。法人格の有無は問わない。
- ◆応募期間：2022年5月1日（日）～8月31日（水）※必着
- ◆助成金額：1団体1年あたり50万円を3年間支援
- ◆第3回コンクールでは、伊達市の団地管理組合法人諏訪野会が国土交通大臣賞を受賞しています。



詳細はこちら↑公式HP



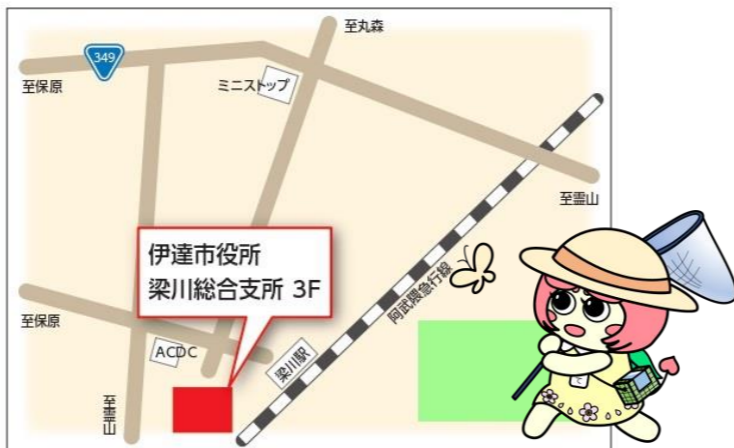
伊達市市民活動支援センター

〒960-0756

福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
↑3/16地震で被災し4階に仮移転中です
TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp



開館日: 毎週月曜日～金曜日(年末年始を除く)
開館時間: 午前8時30分～午後5時15分まで



だってちゃんは、伊達市が千葉県白井市と友好交流協定を締結した際に贈られた、伊達市ゆかりのキャラクターです。

伊達市市民活動支援センター NEWS



2022 夏号

2022 (令和4) 年 7月発行 vol.51
伊達市市民活動支援センター
〒960-0756
福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
↑3/16地震で被災し4階に仮移転中です
TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp

市民活動 いろは 教えて! だってちゃん

Q. NPO (エヌ・ピー・オー) ってなに?

A. NPOは Nonprofit Organization の略称(直訳すると「非営利組織」)。構成員に収益を分配することを目的せず、様々な社会貢献活動を行う団体の総称です。

NPOは、利益を上げて配当することを目的とする企業とは異なり、社会的な使命を達成することを目的としています。なお「非営利」は事業で利益を上げてはいけないということではなく、利益を分配せず、団体の目的を達成するための活動の費用にあてるという意味です。

このうち、特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人を「特定非営利活動法人(NPO法人)」と言います。法人格の有無を問わず、NPOは様々な分野で社会の多様化したニーズに応える役割が期待されています。

福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力...



だてな活動

特定非営利活動法人 伊達市市民活動支援協議会

伊達市市民活動支援センターとともに

私たちは、2011年11月の開設時から伊達市市民活動支援センターの管理運営に携わってきました(当初は任意団体。2013年3月法人格取得)。団体の起源は、伊達市協働のまちづくり推進市民会議(2008年)や伊達市協働のまちづくり指針(2010年)に遡ります。伊達市誕生が2006年なので、市民活動やその支援に関する全市的取り組みの芽生え、発展とともに歩み、東日本大震災からの復興の道のりをみなさんとともにしてきたと振り返って思います。

困っていることを何とかしたい

センター開設以来、時の流れとともに社会のニーズは大きく変化しました。市民活動への関わり方も多様化しています。私自身、このNPO法人の他にも、任意団体や社会福祉法人、一般社団法人など、さまざまな市民活動団体に関わっています。IT(情報技術)の発達により、個人でできることの範囲も飛躍的に広がりました。変わらないのは「困っていることがあれば何とかしたい」と思う気持ち。センターの運営を通じて、これからもみなさんの気持ちに向き合い、寄り添い、ともに歩んでいきたいです。(024-563-6970 伊達市市民活動支援センター)



三浦 正一 理事長

株式会社 リビングロボット 伊達市坂ノ下15



だてな活動

「生」「活」に寄り添うロボット

私たちの会社は、伊達市に本社を置くロボットベンチャーです。ロボットと人が共に生きる社会の実現を目指し、福島ラボ（南相馬市）、九州ラボ、東京オフィスをつなぎ事業展開しています。人と共に成長する「生」きるロボット。人が人らしく生きられるよう「活」かすロボット。ロボットには、人の「生」「活」に寄り添うパートナーとして、多様な豊かさを実現する可能性があります。ロボットの技術を現場に落とし、ロボットを使うことで普段の生活に何をもたらすことができるか。人とロボットとのつきあい方を様々に模索し、提案しています。

ロボットを通して笑顔届けたい

例えば私たちは、排せつ介助にかかる介護者の負担を軽減し、かつ被介護者の尊厳を守ることを目的に介護用品を開発しています。また昨年度からは、市内の全小学校で「あるくメカトロウィーゴ」を使ったプログラミング授業を実施しています。入力したプログラムが、親しみやすいロボットの動作で体現されると、画面上に留まらない学びに子ども達の目が輝きます。これからもロボットを通じてたくさんの笑顔届けたいと思います。（info@livingrobot.co.jp 徳永）



月舘学園小学校での授業



2021.11 「音楽と文学が出会うとき」

リーディングアラウドの会

朗読と音楽の出会い

私たちの会は、つきだて花工房で行われた島岡 安芸和（しまおか あきと）先生の朗読会をきっかけに、2004年から活動しています。先生のご指導のもと、現在は30-70代の10名が朗読の研鑽を積んでいます。コロナ禍において活動を自粛した時期もありましたが、昨年は福島市のNPO法人と連携し、初めてピアノとのコラボレーションに取り組んで作品に仕上げることができました。今秋も「くるみ割り人形」を題材に、朗読と音楽のコラボを発表する予定です。

自分の殻を破ることで、伝えられることがある

声に出して読むと、本に入り込み、黙読とはまた違った理解に達します。それをどう表現すれば良いか。試行錯誤の連続ですが、聞いてくださる方に伝わる喜びは大きく、達成感がモチベーションになっています。恥ずかしがらず、自分の殻を破ることで見えてくるものがある。これからも発表の機会を得て、作品のすばらしさをみなさんと共有していきたいです。（090-9635-0884 齋藤）



だてな活動

だてな活動

山野川地区自治協議会 伊達市霊山町山野川字根元35-1

山野川地区（6行政区）
・人口：313人
・世帯数：117
（2022年6月現在）



地域防災マップ：大きな目と小さな目

2016年に発足した山野川地区自治協議会は、2018年から、住民の関心が高かった地域防災マップの作成に取り組みました。地区全体のマップを作成した後、翌2019年には、台風19号による被害状況も踏まえつつ、6つある行政区単位でより詳細なマップを作成しています。全体のマップは地区を見渡すのに役立ち、より現実的な防災、避難の検討には、行政区単位のマップが役立ちます。作成後も、各行政区自主防災会が中心となり、行政区単位で危険箇所点検を行い、毎年フォローアップをしています。

小さく始め、大きくしていくのも良い

地域の情報を丁寧に拾いあげ、小さな気づき反映させていくことで、いざという時に本当に役立つ防災マップになると思います。私たちは、地区全体のマップ作成から着手して、行政区単位へと落とし込む方法を探りましたが、逆のパターンも考えられます。取りかかりやすい、小さな単位から始めてみて、必要に応じて大きくして行っても良い。まずは、できるところから始めてみてください。（090-5188-4888 橋内）



昨年の危険箇所点検



伊達市「だてちゃん」

日本語サークル 伊達ニティー

日本語教室が育てる伊達のコミュニティ

2016年から外国人のための日本語教室を開いています。「伊達ニティー」という名前には、日本語のサポートを通じて、伊達のコミュニティづくりに役立ちたいという願いが込められています。現在、30-70代のボランティア7名が、中国、マレーシア、フィリピンなどから来た大人4-5名、子ども6-7名と活動しています。

伊達市を好きになってもらいたい

教室では、大人には生活日本語の支援、子どもには学校授業のサポートをしています。サークルで勉強した子どもが高校に合格すると嬉しいです。季節に合わせてイベントも開催し、みんなで楽しんでいます。私たちの活動を通じて、日本のことをもっと知り、伊達市をもっと好きになってもらいたいです。（090-4887-7336 松田 ※関心のある方は直接教室にいらしてください）

にちじ まいしゅうきんようび ばしょ やながわしょうがっこう
日時：毎週金曜日 19:30-21:00 場所：梁川小学校コミュニティールーム

だてな活動

